

## KT師重賞本命と見解

### アルゼンチン共和国杯

20年以上前から、東京芝 2500m 重賞は  
フランス指向の伸びを強調するトニービンか  
ディクタスを持つ馬が向くレース。

なかでも、キャリア 15 戦以内。  
前走まで条件戦だったフレッシュな馬が狙い目。

本命はアンティシパイト。

父はルーラーシップ。その母父はトニービン。  
当レース勝ち馬ムイトオブリガードも出しています。

母父もスケールを与え、当レースの適性も高いディープリンパクト。

前走条件戦のフレッシュな馬。

3 連系の相手妙味にトニービンかディクタス持ち、  
キャリアの伸び代も秘める 2、11。

## みやこステークス

当コース重賞はタフ。

去年の当レースは父か母父ロベルト系が 2 頭出走。

クリンチャーが 1 着、エイコーンが 9 番人気 3 着。

2 着だったヒストリーメイカーも 3 代母の父がロベルト系のリアルシャダイ。

当コース重賞で何度も連対しているアナザートゥルースも

父母父ロベルト系の影響が強い馬。

ロベルトはイギリス指向のスタミナ、馬力に優れた血統。

短縮馬も走りやすい。

本命はオーヴェルニュ。

母父がブライアンズタイムの系統。

短縮馬。前走は結果的に前々走のレコード勝ちの反動と、

レコード馬場の後にタフな 2000m への出走で反動が出た形。